拓殖大学北海道短期大学

キャンパスだより

発　行　学校法人拓殖大学
編　集　拓殖大学北海道短期大学

〒074-8585
北海道深川市メム４５５８
ＴＥＬ（0164）２３－４１１１
ＦＡＸ（0164）２３－４４１１
URL https://www.takushoku-hc.ac.jp/

－第57号－

発行日　令和６（2024）年４月10日

令和六年度　入学式　学長告辞



学長　田中（たなか）英彦（ひでひこ）

例年よりも雪の多かったここ深川に、蕗の薹や福寿草が顔を出す待望の春がやってきました。この良き日に拓殖大学北海道短期大学に入学された新入生の皆さん、ご入学誠におめでとうございます。私たち教職員一同、皆さんのご入学を心から歓迎し、お祝いいたします。また、これまで新入生を慈しみ育ててこられた保護者の皆さまに心から敬意を表するとともに、入学の喜びを分かち合いたいと思います。

そして、拓殖大学国際学部農業総合コース３年生の皆さん、本学で農業を共に学ぶ学生として、皆さんを心から歓迎いたします。

新入生の皆さんが入学されたこの拓殖大学北海道短期大学は、今から58年前の１９６６（昭和41）年に開学されました。そして、当初の納内キャンパスからこのメムの地に１９９２（平成４）年に移転して33年目を迎えました。本学の建学の精神は、「拓殖大学の伝統である開拓者精神を継承し、実践的な知識や技術と豊かな人間性を兼ね備えた、広く社会の発展に貢献できる有為な人材を育成することを目的とする」です。皆さんは、この２年間でそれぞれの分野の基礎をしっかりと学び実践力を身に着けるとともに、「前に踏み出す力」、「考え抜く力」、「チームで働く力」の３つの能力から構成される「社会人基礎力」を高めて、それぞれの進路に力強く羽ばたいてください。

本学は、この実り豊かな美しい北の大地北海道深川市に居を定め、長きにわたり「すべての学生に成長と感動を」を教育の原点として、社会の状況に対応しながら、誠実に歩みを進めてまいりました。その間、１万３千人を超える卒業生を世に送り出し、先輩の方々はそれぞれの分野で地域を支えるリーダーとして立派に活躍をしておられます。大学の伝統は、学生の皆さんが創っていくものです。それは、単に古きものを受け渡すだけでなく、時代の変化の中で革新してこそ生き残っていくものです。新入生の皆さんの力で、新たな伝統を創り上げてください。

本学は開学以来、農業、経済、幼児教育の３本の柱で、教育・研究活動を推進してきましたが、昨年度は本学にとって激動の１年でした。18歳人口の減少による大学全入時代の到来により本学志願者が激減するなか、農学ビジネス学科のコース制の廃止と入学定員の減員、そして令和７年度以降の保育学科の学生募集停止という苦渋の決断をいたしました。ただし、保育学科の新入生の皆さんに対しては、必要な単位と資格を取得して希望の進路に進めるよう、これまでの教育の質を低下させることなく教育・指導していきますので、ご安心ください。また、農学ビジネス学科は、そのカリキュラムを再編し、皆さん全員が農業の基本を座学と実習で学び、それを基盤として皆さんの関心や進路に応じて、「農」、「食」、「地域」の各科目を自由に選択できるようにいたしました。

私は、この短期大学での２年間の学びのなかで、感動体験が学生を育てると信じています。皆さんは、授業や実習・研修のみならず、広大なキャンパスのなかでのクラブ活動や全学で取り組む拓大ミュージカル、あるいはアルバイトやボランティア活動に自ら積極的に挑戦してください。まさに青春真っ只中です。勉強も遊びも全力で取り組んでください。時には失敗し挫折感を味わい、友達と喧嘩して悩むこともあるでしょう。しかし、それを乗り越えたときに、人は大きく成長します。

石狩川が運んだ栄養分に富んだ本学の実験・実習農場は、全道有数の米どころ深川市の中でも一等地といえる素晴らしい土壌を有し、美味しい農産物が生産されます。寒冷な北海道のなかにあって、気象的にも最も恵まれた地域であることを活かして、本学はサツマイモやラッカセイなど、かつては北海道では栽培は難しいといわれた作物の試作にいち早く取り組み、北海道の新顔作物としての導入と作付面積の拡大に貢献してきました。新入生の皆さんも、この土壌と作物に触れ、作物の成長に感動し、収穫の喜びを味わってください。

本学は、地域社会への貢献を教育理念の重要な柱に掲げ、地域社会とともに発展する短大として、「農業セミナー」、「保育セミナー」などを開催するとともに、「ふかがわ夏祭り」や「ふかがわ氷雪まつり」などの地域の行事に学生が積極的に参加してきました。本学は地元深川市から大きなご支援をいただいていますが、深川市をはじめ近隣の自治体や住民の方々が学生に寄せてくださる眼差しは暖かく、この北空知の地に居を定めている幸せを強く感じています。新入生の皆さんも交流の輪に入り、企画を推進する者のひとりとなって、地域の方々から愛される拓大生になってください。

大学生活においては、ときに苦しいことや悩むことがあるでしょう。何でも相談できる友人や先輩を多く持つことが必要ですが、私たち教職員にも遠慮なく相談してください。私たちは、皆さんが有意義な学生生活が送れるよう、そして人間として大きく成長できるよう、学生ファーストで最善を尽くします。学生と教職員との距離が近いことが、小規模短期大学である本学の最大の強みの一つです。

今日からいよいよ大学生です。健康に十分留意して悔いのない学生生活を送られることを願って、新入生への歓迎の辞とします。